

地域にプラス!!社会にプラス!!自分にプラス!! シルバー人材センター

2022/07/10 放送



出演者

公益社団法人 山口県シルバー人材センター連合会 事務局長

浜田 美智子（はまだ みちこ）さん

◆今週と来週は2週に渡って「シルバー人材センター」について、学んでいこうと思います。まず、浜田さんのプロフィールをご紹介します。

浜田さんは、2001年10月に山口県シルバー人材センター連合会に入られ、経理、総務をご担当。2019年4月より事務局長、6月より常務理事にご就任。20年以上にわたりシルバー人材センターに携わり、全国シルバー人材センター事業協会のシルボンヌ全国大会の実行委員会委員もお務めです。

◆「シルボンヌ」という言葉が出てきましたが、「シルボンヌ」とは何ですか？

「シルボンヌ」とは「シルバー人材センター」で働く女性会員の愛称なんです。「シルバー」とフランス語のお手伝いや親切を意味する「ボンヌ」を合わせた造語です。全国各地でたくさんの「シルボンヌ」さんが活躍されています。

◆「シルボンヌ」についてはまた、お聞きしたいと思いますが、まずはシルバー人材センターにつ

いて教えてください。

はい。シルバー人材センターは、60以上の高齢者が働くことを通じて生きがいを得るとともに地域社会の活性化に貢献する組織です。センターでは、企業・個人家庭・公共団体などから会員に相応しい臨時的且つ短期的、または軽易な仕事をお引き受けし、その仕事にあった働き方、請負・委任、派遣、職業紹介により、会員の皆さんにお仕事を提供しています。

原則、市や町単位に設立されており、全国では約1,300センターあり、会員数は約70万人。山口県では17の市町に14のセンターがあります。会員は3月末現在9,158名で平均年齢は74歳です。

◆シルバー人材センターは全国にあり、山口県内では14センター、17市町で展開ということで、ほぼ県下全域で活動されていると言っていいですね。そして定年退職された方など60歳以上の高齢者が働く団体ということでいいですかね。

そうですね。そしてシルバー人材センターには理念を表す5つのキーワードがあるんです。それは、「臨・短・軽」「健康維持」「社会貢献」「仲間づくり」「生きがい」の5つです。「健康維持」「社会貢献」「仲間づくり」「生きがい」は分かると思いますが、「臨・短・軽」とは「シルバー人材センター」での働き方を表しておりまして、臨時的・短期的・軽易な業務という意味で、働く日数が月10日程度以内または週20時間未満となっています。現役の時のようにフルタイムでなく無理なく余裕を持って働こうということです。仕事を紹介しているだけではなく、社会参加を通じて「健康維持」や「仲間づくり」そして「生きがい」のある充実した生活を目指した組織でもあります。仕事を離れた活動として、各種同好会活動や親睦会・会員旅行などがあります。会員の特典もあり地域の店舗と連携して割引やプレゼントがもらえるフレンドリーショップ制度を実施しているセンターもあります。

◆働く日数が月10日程度以内または週20時間未満というルールがあるんですか？

そうですね。ですから、お仕事の違いや地域差はありますが、平均的な収入は月3万5000円くらいなので、お小遣い程度といったところでしょうか。社会と自分のために無理なく余裕を持って働こうということですね。

◆なるほど。収入的にはあまり大きくはないが、仲間と楽しみながら働く、自分の居場所づくり、生きがいづくりという意味合いが強い感じがしますね。

そうですね。加えて働くことで会員の健康水準は一般の高齢者に比べて高いという統計も出ていま

す。なので地域にプラス、社会にプラス、自分にもプラスと言えます。

◆それは素晴らしいことですね。健康第一ですから。実際の仕事の内容はどのようなものですか？草刈りや駐輪場の管理というようなイメージがあるのですが。

はい。今言われた、草刈、駐輪場の管理やお庭の剪定、「公園の清掃」「ゴミの分別」など「環境美化、生活の利便性の確保」に関することが従来の主な仕事でしたが、時代の変化とともに仕事内容も多彩になってきています。

・同世代を支える仕事として個人家庭の家事援助、地方公共団体が行う介護予防・日常生活支援総合事業の受託による生活支援サービス提供

・次世代を支える仕事としては放課後児童クラブの補助員、子育て支援、食育交流など

・地域社会を支える仕事として空き家・お墓の管理、公民館・駐輪場など施設管理、空き店舗の活用など

・人手不足企業への労働者派遣も行っています。スーパーやホームセンターでの商品管理や介護施設や飲食店での調理補助、自動車販売店での洗車、送迎バスの運転なども行っています。

◆ずいぶんと業務内容が多岐に渡っているんですね。びっくりしました。また、介護予防・日常生活支援総合事業の受託団体としての活動もされているんですね。

はい。県下では7センターが介護予防・日常生活支援総合事業の委託を市から受け、会員の方が生活援助サービスとして、掃除や調理などをされています。また、この他にも会員が自ら取組んでいる、独自事業もあるんですよ。

◆すごいですね。残念ながら時間となってしまいました。独自事業や冒頭触れました「シルボンヌ」の活動などは来週お話しいただければと思います。浜田さん、今日はありがとうございました。

地域にプラス!!社会にプラス!!自分にプラス!! シルバー人材センター

2022/07/17 放送



出演者

公益社団法人 山口県シルバー人材センター連合会 事務局長 浜田 美智子（はまだ みちこ）さん

◆先週は「シルバー人材センター」の理念や実際の仕事の内容など、概略について学びました。仕事が多岐に渡っていることに驚きましたが、今日は、さらに「独自事業」や女性会員「シルボンヌ」の活動について教えてください。

「独自事業」としては、金魚提灯の制作やシルバー農園の運営、また、手芸品・布製品を作って道の駅などで販売しています。子育てサロンを開設して子供さんを遊ばせながら親御さんの子育ての相談に応じたり、いくつかのセンターではしめ縄や門松の制作やパソコン教室、刃物研ぎや剪定の枝葉をチップにして土壌改良の肥料にして販売しているセンターもあります。

独自事業はSDGsの取組みとしても評価できると思います。

◆「独自事業」もいろいろあるんですね。自分がやってみたい事業があればやってもいいですか？

はい。起業と同様に自らが作りだし、自らが働くことができます。兵庫県のセンターでは、“3人寄れば独自事業”とあって、たくさんの事業に取り組んでいる例があります。一人暮らしの高齢の方のお話相手となる「傾聴」なども事業として成り立っています。事業のヒントがあれば是非、お教えてください。

◆先週、シルボンヌというワードがありました。具体的にお話いただけますか？

はい。先週、少しご紹介したとおり、「シルボンヌ」は「シルバー」とフランス語のお手伝いや親切を意味する「ボンヌ」を合わせた造語です。シルバー人材センターのイメージアップと女性会員の入会促進のために、もともとは埼玉県シルバー人材センター連合の「いきいき埼玉」が平成30年に定めた女性会員の愛称です。シルバー人材センターの全体のイメージ改革に繋がりたいの思いから、現在は全国でこの愛称が使われ、昨年、一昨年は東京でシルボンヌ全国大会が開催されました。

シルバー人材センターは、庭木の剪定や草刈が主な仕事で男性が多いイメージがあるかもしれませんが、女性会員も多く、活躍されています。県下では女性会員の割合は1/3程度ですが、女性活躍の時代に乗り遅れないよう、シルバー人材センターでももっとたくさんの女性に会員になっていただきたいと思っています。もちろん、男性のかたも歓迎いたします。

◆「シルバー人材センター」へ入会するにはどうすればいいのですか？

原則60歳以上の健康で働く意欲のある方ならどなたでも会員になれます。

まずは、お住まいの地域のセンターが開催する入会説明会などに参加の上、シルバー人材センターの仕組みをご理解いただき、趣旨に賛同していただければ、会費を納めて入会していただくこととなります。

◆住んでいるところを管轄しているセンターに入会するというのでね。会費と言われましたが、どれくらいなのですか？

センターによって異なりますが、4月から3月までの年会費として、2400円～3000円です。センターごとに入会時期による割引やご夫婦で入会された場合の割引などがあります。

◆現在の山口県の会員数は9158人と言われましたが、増えているのですか？

残念ながら会員は減少傾向にあります。現在センターでは会員の減少と会員の高齢化が課題となっています。企業における70歳までの就業機会の確保が努力義務となったことも影響して、60歳代の新規入会会員が減少し、新規入会者の年齢が上がっていることにより会員の高齢化が進んでいます。お仕事のご依頼に対し就業できる会員が不足している状況であるので、是非とも地域の60歳以上の皆様には会員になっていただき、地域のために力を貸していただきたいと思っています。

◆求められている仕事量に比べて会員が不足している状況なのですか。しかし、先ほどの女性会員

「シルボンヌ」たちが輝いていることや「独自事業」が広がっている状況などを見ると活性化する可能性は十分にあると思います。男性会員にもいい愛称があるといいかもしれませんね。

そうですね。男女を問わず、新規会員大募集中です。ご入会をご検討中の方は、まずは各シルバー人材センターの入会説明会にお越しください。入会前、入会後の就業体験や各種講習会も行っております。

また、ご入会を検討されている方だけではなく、地域の皆様には「シルバー人材センター」は草刈り・清掃・剪定の他にも、多種多様な仕事を引き受けているので、困ったことがあれば、是非、センターにご相談ください。

◆秋に大きなイベントがあるそうですが？

まだ先の話になりますが、10月21日には11年ぶりとなる「シルバークフェスティバル」を新山口駅そばのKDDI 維新ホールで開催します。

辛坊治郎さんの講演や会員の活動発表会、ロビーでは手作り品の作品展示や販売など行う予定です。近づいてまいりましたら、また、ご案内しますので一般の方も奮ってご参加ください。

◆11年ぶりの開催ですか。辛坊治郎さんの講演会や会員の皆さんの発表会など、聴いてみたいですね。

ありがとうございます。お問い合わせ・ご相談は。

山口県シルバー人材センター連合会

電話番号 083-921-6070

または、最寄りのシルバー人材センターにご連絡ください。